



いきいき通信

vol. 13



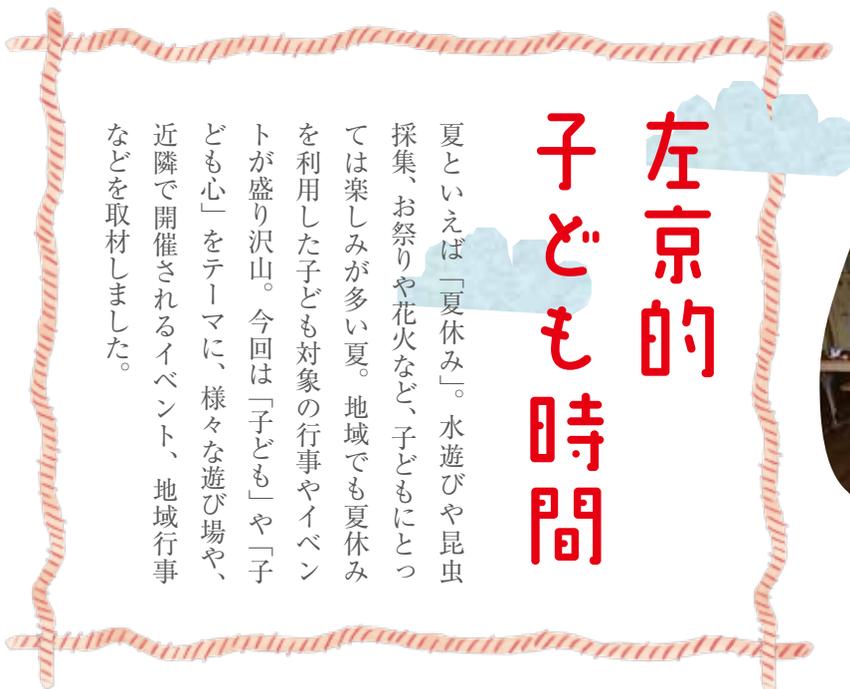
シンプルだけど奥深い！？ 紙にコーキをつくらう！

当センターからすぐ近くの養正児童館で夏休み限定の催しがあると聞いて、早速取材に。それは、夏休みの子どもたちが地域の方々に、折紙で紙飛行機の作り方を教えてもらうという楽しい行事。開始の10時半にお邪魔したところ、もうすでにたくさん子どもたちが色々な紙飛行機の作り方を教えてもらっては飛ばし、走ってまた取りに行っている遊びの真っ最中でした。イカ飛行機、オニオン飛行機、つばめ飛行機…何やら初めて聞く名前の紙飛行機に私も興味津々、さっそくスタンダードな形の紙飛行機と、ちょっと作り方が難しいつばめ飛行機にチャレンジ。完成した紙飛行機を子どもたちと飛ばし合い、飛距離を競っては、取材を忘れて楽しんできました。ちょっと翼を曲げたり、飛ばす向きを上を試みたり、飛行機をふたつ重ねて飛ばすお友達がいたり…どうしたら遠くへ飛ぶかを、子どもたちはみんな自分なりに考えていました。自分の工夫次第で楽しみを無限大に出来る折紙のシンプルゆえの奥深さを改めて実感しました。みんな本当に楽しんでました！（長谷川）

この夏、北白川にある聖徳寺で《笑学校》というイベントが開催されました。イベント内容を見ると、始業式や調理実習といった学校の時間割のようなプログラム。子ども心を思い出しワクワクしながら《笑学校》の《こう長》を務める藤川かな奈さんにお話を伺いました。この《笑学校》とは、藤川さんが代表として協力者を集め、去年の夏、発足した団体です。子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで、幅広い年代の方々が集う学びの場を作るため、色々な場所でイベントを行っているそうです。一般的な「学校」というと、先生が子どもに勉強を教える

という図が思い浮かびますが、ここでは、先生役としてお年寄りが昔の話や手料理を教えたり、また逆に若者が大人に今の時代のコミュニケーション方法をワークショップ形式で教えることで、世代にとらわれない好奇心を刺激し、世代交流の場作りが行われています。毎回、魅力的なプログラムを実施している《笑学校》ですが、藤川さんが目指すのは、「何もない日」とのこと。「以前に一度『笑学校PTA会議』というトークセッションを行ないました。『世界一おもしろい学校って！?』ということをテーマに、みんなが作りたい学校を、色々な問いかけから

考えていったのですが、思った以上にみんな面白いことを考えている。なんなら今すぐにも出来るようなものもありました。そういう風に、何をやるかは決めずに集まって、集まってから話し合っ、面白そうなことをする。そういうことが出来ればいいなと思っています」。誰かが教え、誰かがそれを受け取り、共有し、楽しむ。《笑学校》のいう「学校」には、ただみんなで楽しめることが溢れているのです。故に学校特有の堅さは無く、まさしく「学校でもない、塾でもない、お稽古でもない、笑学校。」としか言いようのない「場所」になっているのかもしれない。学校嫌いだった大人や、まだまだ夏休みを終えたくない子ども、これからたくさん学びたいお年寄りも、《笑学校》ならまとめて受け止めてもらえることでしょう。（脇田）



左京的 子ども時間

夏といえば「夏休み」。水遊びや昆虫採集、お祭りや花火など、子どもにとっては楽しみが多い夏。地域でも夏休みを利用した子ども対象の行事やイベントが盛り沢山。今回は「子ども」や「子ども心」をテーマに、様々な遊び場や、近隣で開催されるイベント、地域行事などを取材しました。



学校でもない、塾でもない、 お稽古でもない、笑学校

子どもたちのお祭り 「地藏盆」のある風景



現在、養正市管住宅の各棟に必ずあるお地蔵さんは、建設時に住民の強い要望で祀られた（移動された）もの。当時の地藏盆で子どもたちが作ったかのようにも思える色鮮やかな化粧地藏が特徴的だ。

関西を中心に毎年8月22日～24日頃におこなわれる子どもたちのお祭り『地藏盆』。どんなお祭りなのか、ふれあいサロンで地域に住むお年寄りに教えてもらいました。すると、「子どもの頃は正月より地藏盆の方が良かった」という第一声。町内一筋ごとに祀られているお地蔵さんを綺麗に掃除し、祠の前に提灯をぶら下げ、お芋さんやぜんざい、すいか、トマト、キュウリ、素麺などを供えます。子ども達はお供え物が夜中にとられないように床机と毛布を持ってきてお地蔵さんの前で寝たそうです。「先に寝た者から鼻の下に長いヒゲを落書きされた。」と子どもの頃の思い出を笑いながら話してくれました。また子ども達は河原で取ってきた丸い石に顔を描き、お地蔵さんに見立て、みかん箱に立たせてお供え物を置いたそうです。地域の全てのお地蔵さんをまわってお線香を供える「線香参り」という風習があり、自分の手作りのお地蔵さんにもみんながお線香を供えてくれてとても嬉しかったとのこと。今では近所づきあいの希薄化、子どもの減少、地藏守りの不在など、様々な要因で『地藏盆』が途絶えることもあります。センターがある養正地区でも5年前から行われておらず、「取りまとめて世話するのも大変やからなあ。」という言葉に少しの寂しさを感じましたが、京都ではまだまだ『地藏盆』のある風景は健在です。そのようなお祭りの姿を伝承し、さらには残していくことも地域にとって必要なかもしれません。（梶川）

子どもとみよう！

演劇ことはじめ



音楽劇『ことばのはじまり』をみよう！

「ことばのはじまり」京都公演 9月4日(木)～9月8日(月)
アトリエ劇研(左京区下鴨塚本町1) TEL: 075-791-1966
作・演出/ディディエ・ガラス
出演/森川弘和 坂口修一 小島功義 松尾恵美 きたまり
音楽・演奏/野村誠 やぶくみこ

音楽劇『ことばのはじまり』は、ナンバーバルパフォーマンスとあって、「言葉を使わない」劇です。言葉を使わないということは、身体だけで表現するということですが、登場する5人は、役者やダンサー、和太鼓奏者と多彩なジャンルで活躍する人たちです。それぞれの動きの違いに注目してみてください。また、劇中にはたくさんの楽器が登場します。その楽器からどんな音が聞こえるか、どんな演奏がされるのか、生の音に耳を澄ましてみましょう。そして、見終わったあとの「ことば」にできない「なにか」をぜひ大切に持って帰ってください。（*京都公演の後は、三重・鳥取でも開催。お問い合わせ・詳細は、<http://gekken.net/kotobanohajimari/> をご確認ください）

当センターを運営する「NPO劇研」は、左京区・下鴨にある小劇場「アトリエ劇研」の企画や運営をおこなっています。そのアトリエ劇研は今年で50周年を迎え、記念事業を開催中。9月には音楽劇『ことばのはじまり』を上演予定です。そこで、大人はもちろん、子どもと一緒に楽しめる演劇の魅力センター長(杉山)が自信をもってご紹介。初めての方も、ぜひ一度劇場にお越しください。

「体験」で心に種をまこう

観劇は「体験」です。劇場独特の空気、目の前で演じられる生々しさは、特に感受性が豊かな子ども時代には貴重だと思います。つまり、ストーリーを追うだけでなく、「感じる・想像する」機会がそこにあるからです。という私は、子どもの頃全く「劇」にはピンと来ていませんでした。正直、ちょっと退屈でした。目の前で演じる役者さんを見ていて、こっまでちょっと気恥ずかしくなっていました。でも、それこそが「体験」なのだ大人になってわかってきました。体験は「大切な実のなる種」のようなもので、まいたときには何が育つかわかりませんが、それが育ったある日、「あの種がこうなったのだ」とふりかえることができるものだと思います。ねがわくば、子どもたちには、よき実をつけるいい種をたくさんまいてもらいたい。そして、成長とともに大きく育てて欲しい！私達も、できる限りいい種を厳選し紹介したいと思っています。





「いきき」って
どんなところ!?
vol.5

当センターには、入り口に沢山のチラシが並ぶ、情報コーナーを設置しています。京都市からのお知らせや各種イベントの開催情報、ボランティアの募集情報や、当センターが発行している通信のような読み物など、市民活動を中心とした様々な情報を手に入れることができます。チラシは持ち帰り自由、設置も可能ですので、ぜひ効率良くご利用ください。

情報コーナーの
使い方



これを
チェック!

- ジャンル分けされたコーナーで欲しい情報を素早くキャッチ!
*「京都市からのお知らせ・催し案内・演劇・福祉・まちづくり・募集・当館での事業」に分かれています
- 近隣の催しなどで近日中に開催されるものは、掲示板に掲示してお知らせしています。
*ポスター掲示しているものもありますので、そちらもご覧ください。
- 綺麗なデザインのチラシや、凝った冊子は、気になったら手に入れるべし!
*情報は常に更新されるので、期間が過ぎたチラシなどは探しても見つからないことも。また、「これが無料?」と思うような読み応えのある冊子は数量限定で配布しているので、気になったら手に入れることをおすすめします。

気になった
チラシ・フリーペーパーを
Pick UP

勝手に

↓どれも、手書き文字やイラストで作られた、手づくり感が伝わるチラシ・フリーペーパー。



↑当センターで開催された展覧会「ねずみとひかり」の案内チラシ。センターの会議室とは思えない(!?)写真をメインにした綺麗なデザイン。



↑NPO法人スウィングが発行するフリーペーパー (Vol.16)。「福祉」をクリエイティブな視点で紹介する内容が魅力。

センター長・杉山準の
いきいき
こらむ。

今年の夏は山間部の集落へ行く機会がよくあったのですが、そこで気づいたことがありました。ため池や、森に囲まれているにも関わらず、あまり蚊にさされないのです。この季節、当センターの庭で作業しようものなら、長袖、長ズボンに、虫除けしても、数分で何カ所もさされてしまいます。話しは変わりますが、今夏は各地で豪雨が相次ぎ、甚大な被害も報道されていました。地球温暖化の影響との声も聞こえてきます。蚊の話しとだいが飛躍しますが、都会に蚊が多いのも、例のない集中豪雨も、本来あるべきバランスが崩れてしまったからなのにも思えます。都会の蚊を徹底的に駆除することはきっと可能でしょう。でも、それが別の問題を引き起こしそうな予感もします。地球が温暖化していることは知識として知っていても、まだ遠い異国の問題のようにも感じます。しかし、その弊害がだんだん身に迫って来た時、私たちはどうそれと向き合うべきでしょうか。目先の対処は、蚊を徹底的に駆除する方法に似ています。全体の調和を考えた、自分達の目的達成を目指すことが求められていると感じます。そして、それは市民活動も同様だと感じる今日この頃です。

園芸日誌・番外編

園芸写真館

今年も当センターでは季節ごとの美しい花の開花や、沢山の野菜の収穫がみられました。植物たちのイキイキした様子をご覧ください。



6月13日

種から育てたミニトマトに黄色い花が咲きました。



7月15日

太陽を燦々と浴びて大きくなるミニトマト。暑い夏が始まろうとしています。



5月15日

去年に植えたガーベラがようやく開花。雨粒が葉や花びらについて、キラキラしています。



7月21日

成長の著しいミニトマト。キミドリ色からアカへのグラデーションが美しい!



6月12日

高齢者ふれあいサロンのあじさいが満開。その他にも、水色・ピンクと庭いっぱい咲いています。



8月6日

今年も豊作のゴーヤは、個性溢れるユニークな形に成長しました。センター利用者さんにもおすそわけ。

今後のイベント／参加募集

野菜市 大好評の野菜市。秋の野菜も登場します。

日時：毎月第2土曜日 10時～11時 (売切次第終了)

場所：養正市営住宅9棟1階 田代書店の横

いきいき秋の音まつり 春に開催した“音まつり”を再び開催。お楽しみに!

日時：11月2日(日) / 場所：左京西部いきいき市民活動センター・高齢者ふれあいサロン

料金：無料 (参加ブースによっては有料のものもあり)

*お申込み・お問い合わせは当センターまでご連絡ください